



青山中学校の紹介

昭和50年に開校し、今年度で45周年を迎えることとなる青山中学校は、学校の教育目標である、「生活を見つめ 自ら創り出す生徒 ～目標・努力・発見～」をもとに、自分で考え判断し、決め、実行したことに、責任をもつことを学んでいます。

1. 「中学生からのハローワーク」について

1 「中学生からハローワーク」とは

「中学生からのハローワーク」は、キャリア教育の一環として、青山中学校の生徒や校区内(鷺山・常磐)の小学生を対象に平成16年度から実施しているものです。仕事をする上での今後の夢や目標、仕事の選び方のポイントなどを「地域で実際に働いている人から直接学ぶ」進路学習であります。

青山中校区の三校のPTAは、地域で子どもたちを育てることを目指しており、ハローワークは「子どもの夢を、学校、家庭、地域で支え、みんなが育つPTA」の中心となる活動となっています。

2 「中学生からのハローワーク」の講師の選定

講師は、地元企業の協力やPTA会員から紹介など、人脈をフル活用してお願いしています。

願いの職業は、「生徒会と語る会」で、反省や感想を聴き、どの職業の講義を聞きたいかの要望

も参考にして選定しています。今年度は、およそ40人の講師に協力していただきました。

3 「中学生からのハローワーク」の準備・運営人数

前年度の11月頃に生徒会との生徒会と語る会で、改善点や次回講師への要望について話し合う会をスタートとして12月から2月まで、月1回の打ち合わせを行います。3月下旬から6月の本番までは、2週に1回ほどの打ち合わせにより実現されます。

運営には、当該年度のPTA本部役員を始め、前年度のPTA本部役員とで組織された「青山中キャリア部会」が中心となり企画運営を行っております。

当日の「中学生からのハローワーク」の運営には、当該年度の青山中PTAの全役員、全委員と鷺山・常磐小PTA役員が参加します。

青山中の保護者を含め、総勢100人近くに協力していただいております。青山中に通う、全世帯の3分の1に近い保護者のみなさんで運営されています。

4 「中学生からのハローワーク」の参加対象者

講義は青山中の生徒と青山中校区の6年生を対象としていますが、毎年土曜日に開催しており、保護者をはじめ、地域の方など自由に参加できます。

5 講義をうけての生徒からの反応

生徒たちの感想からも「自分の進路を考えるうえで、とても参考となる話を聞くことができる」という声が寄せられ、実際に経験している体験に基づく話は、生徒の心に届きやすいものであると感じております。

2. 今後の青山中学校PTA活動について

私たち青山中PTAは生徒にとって「より身近なPTA」として、地域と連携しながら活動しております。

青山中校区の子ども達は地域の大人たちが皆で育てるという思いは、16年前から変わらず受け継いでいます。その思いを受け継ぎ、家庭でそして地域で、青山中校区の子ども達をみんなで支えて行きたいと思っています。